

## 議 事 要 旨

【日 時】平成27年8月25日（火）17:30～19:30

【場 所】佐世保市中央保健福祉センター6階研修室3

【出席者】委員5名（※前村委員、阿部委員は欠席）

（事務局等）赤瀬保健福祉部長、小寺保健福祉部次長、濱崎保健所長、松本医療政策課長、秋吉医療政策課長補佐  
東山理事長、山崎事務部長、田中事務課長、富本経理課長、前田看護部長、岡本看護副部長

（北松中央病院）東山理事長、山崎事務部長、富本主任、松元看護部長、岡本看護師長  
（佐世保市立総合病院）田中事務局長、小村副理事、尾崎主幹、久地浦主任主事

### ■議題①北松中央病院平成26年度財務諸表の承認について

#### ◆平成26年度の財務諸表の承認について（事務局 ※資料（1）③～⑨に基づき説明）

財務諸表の承認にあたり、合規性の遵守および表示内容の適正性に関して、評価委員会からの意見を求めたい。本市としては、事務局において各諸表の各内容について確認したところ、適正に処理されていると判断できるので、申請どおり承認することとしたい。

○財務諸表中の貸借対照表の、投資その他の資産にある長期貸付金（奨学生の貸付金）について詳しく説明いただきたい。

≪北松中央病院≫医学生・看護学生への貸付状況・実績等の説明。

◆委員長による各委員の承認確認 【意見なし】→【財務諸表の承認】

◆委員長 本委員会としては「意見無し」とする。

### ■議題②北松中央病院平成26年度の業務実績に関する評価について

#### ◆評価の実施要領（案）について（「資料（2）-①」に基づき事務局から説明）

※法人による自己評価及び評価委員会による評価を小項目ごとに5段階評価、小項目の評価等を考慮し大項目ごとに5段階評価と記述式の評価という方法で行う。

#### ◆評価案について（「資料（2）-②」に基づき事務局から説明）

※小項目評価における法人の自己評価と事務局の叩き台として作成した評価委員会としての評価案を比較しながら、項目ごとに評価案を検証し、総合的な評価案についても説明。

#### ◆委員からの意見・質問とそれに対する事務局・病院の回答

※委員長の提案により、主に、小項目評価ごとに、病院の自己評価と事務局作成による評価委員会の評価案の異なる項目を中心に意見交換することとした。

◆平成26年度の事業実績の評価結果について

全体評価

「住民に提供するサービス及びその他の業務の質の向上に関する事項」、「業務運営の改善及び効率化に関する事項」は「C」評価(中期目標・中期計画、年度計画の達成に向けて概ね計画どおり進んでいる)が妥当であると判断された。また、「財務内容の改善に関する事項」は、純利益、経常利益、医業利益において目標値を上回り、黒字化を維持している。安全性についても、財務的に健全な法人の数値を示しているため「B」評価が妥当であると判断された。

大項目評価

1 住民に提供するサービス及びその他の業務の質の向上に関する事項

小項目の10項目中9項目がC評価とされ、他の1項目がD評価と判断されました。総合的に判断して、概ね計画どおりに進んでいることがうかがえ、C評価が妥当と判断された。

2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

5項目中全項目がC評価であり、全体的に見ても概ね計画どおりに進んでいると言え、C評価が妥当と判断された。

3 財務内容の改善に関する事項

黒字化を維持し、安全性についても、財務的に健全な法人の数値を示していることからB評価が妥当と判断された。

◆評価委員会による各委員の評価平成26年度の事業実績の評価結果について

特定健診について (法人自己評価Ⅱ⇒事務局評価案Ⅰ)

○この件については、なかなか進んでいない状況。

≪北松中央病院≫ 医師の充足率が8割あるかないかで、なかなか健診までは手が回らない状況。。

経営の計画について

○26年度に利益が上がった要因は？

≪北松中央病院≫ 大きい要因としては、昨年末のインフルエンザの流行。あとは、職員ボーナスを少し削減したこと。

在宅復帰支援、介護保険サービスについて

○26年度目標値より実績値が下がっているが、C評価(概ね計画通り)でよいのか？

≪北松中央病院≫ 訪問看護については地域に住んでいるニーズがどれだけあるかについても変わってくる。在宅復帰支援についても7割より高いので、7:1看護要件を満たしており、比較的、在宅に戻られている。

臨床研究及び治験の推進について

○26年度目標値より実績値が下がっているが、C評価(概ね計画通り)でよいのか？

≪北松中央病院≫ 臨床研究や治験は大学自体がやりにくくなっている状況。今後も極めて厳しくなってくるだろ  
≪事務局≫ 県と大学で連携して地域医療を支えていただくよう要望はしているが、なかなか実現が難しい問題。北松中央病院で奨学金制度に取り組みされているように、総合病院でも研修医の確保対策に取り組んでおり、これによって若い医師が集まり、地域へも波及効果があることを期待しているが、行政のできる場所は限られているというのが現実。

今後についての確認

本日の意見を反映し、修正案については最終的に委員長に一任することを確認。

■議題③佐世保市立総合病院中期目標（案）について

◆ 第1期（平成28～30年度）の中期目標案について （資料（3）に基づき事務局から説明）

〔 ※佐世保市が病院に求める基本的な考え方を整理し、平成28年度からの3年間における目標について説明 〕

◆ 委員からの意見・質問とそれに対する事務局・病院の回答

〔 ※事務局作成の中期目標案を中心に意見交換。（今回は内容についての質疑。） 〕

◆ 次回評価委員会について

〔 ※次回評価委員会においても、引き続き中期目標案の審議と、中期計画についての説明を行なうこととする。 〕

《以 上》